

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2015年4月～2016年3月

1. 学校概要

学校名 白石市立白石第一小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒989-0259
宮城県白石市字半沢屋敷前2の2

E-mail : info@shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp

Website : <http://www.shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp>

児童生徒数：男子 221名 女子 176名 合計 397名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域教育)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

A 環境教育

- ① 春や秋に学区内にある益岡公園へ行き、自然や動植物を観察したり高台の公園から市内を展望したり、身近な環境を知ると共にその変化に対する興味や関心を高めた。(1年生活科「春の白石城に行こう」、「あきいっぱい」・2年生活科「春のまちを歩こう」、親子活動「親子まちたんけん(秋)」・3年社会科「学校のまわり」、5年「東北・夢の桜街道運動絵画コンクール」)
 - ② 本校に設置されている太陽光発電システムの学習をきっかけに環境問題についての課題を見つけ、その課題についてグループで調べ発表会を学習に取り組んだ(4年社会科)。
- (3) 人と環境の関わりや環境を守る活動等について調べたり考えたりしたことをまとめた。さらに、これからの地球との関わり方について話し合い、環境問題に対して自分ができることをまとめ、環境を守ろうとする意欲を高めた。(6年理科「生き物のくらしと環境」「変わり続ける大地」「地球に生きる」)
- (4) 環境教育、福祉教育の一環として、アルミ缶回収に取り組んだ。児童のボランティア委員会とPTA環境専門委員が中心となり、年に2回実施した。児童の他、地域の商店等からもアルミ缶が集まった。収益金で今年度は扇風機を購入し、各教室に設置した。
- (5) 希望登録児童による「みどりの少年団」(40名)は、年2回の緑の羽募金やサツマイモの苗植え、収穫と収穫祭、校内緑化活動として花壇作りを行い、自然を大切に作る心を育てている。7月のみどりの少年団宮城県大会に17人が参加し、海岸防災林の植樹と黒松の種上を東松島で行った。

2 国際理解教育・外国語活動

- (1) 担任の他、ALTや学校支援ボランティアの指導や補助により、1・2学年は、自国や他国への関心を高めることをねらいとした活動を、3・4学年は、自国や他国の文化・言語に親しむことをねらいとした活動を行った。
- (2) 5・6年は自国や他国の文化・言語に親しむことに加えて、外国語を通じたコミュニケーションの素地を育てることをねらいとして、年間35時間の外国語活動を行った。子どもたちは、ALTや学校支援ボランティアの協力を得ながら、ゲームや歌、会話等を通して英語によるコミュニケーションの楽しさを味わった。

3 伝統・歴史教育

- (1) 総合的な学習の時間に各学年が課題を設定し、調べ学習や発表等の学習活動を行った。
- ① 3学年「わたしたちの学校をしょうかいしよう」
自分の学校の「よい所」や他の学校の人たちにも「自まん」できる「人・もの・場所」について調べたりまとめたり、発表したりした。「学校を好きになろう」という年度初めの校長から全校児童への呼びかけもあり、そのきっかけの一つとなった。
 - ② 3学年「ふるさと白石じまん」

